

# ブラジル：ルラ3.0 - 気候 および生物多様性にとって 朗報か

## ルラ氏の勝利がブラジルの環境に意味すること

### マクロ経済リサーチ



**Luis Lopez Vivas**  
Emerging Market Economist  
Macro Research – Core Investments

#### キーポイント

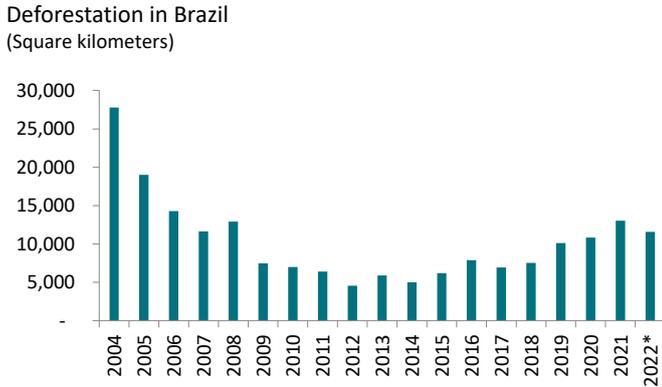
- ブラジルではアマゾン熱帯雨林が国土の半分を占めており、気候変動との闘いおよび生物多様性の保全の中で世界の中心的存在となっている
- 森林破壊はボルソナロ前大統領の下で記録的な水準に達したが、ルラ大統領の実績は、ブラジルの環境政策の転換点になりえることを示唆している
- ルラ大統領は、2030年までに森林破壊ネットゼロおよび、発電における排出量ネットゼロ到達を公約している
- しかし法規制の変更は、根深い政治的ニ極化によりさらに困難になりそう
- 牛の放牧と大豆の生産が森林破壊の背後にある第一要因だが、これらはブラジル経済の主な牽引力でもある
- 長期的には、ブラジル経済のコモディティおよび資源部門における持続可能性の向上が、ブラジルに対する国際的な投資の水準を引き上げる可能性がある

700万km<sup>2</sup>に広がるアマゾン熱帯雨林は世界最大の森林地であり、ブラジル国土の約半分を占めます。国連環境計画（UNEP）によると、同国は世界で最も生物多様性に富んだ国です。世界の生物多様性全体の15～20%が同国に棲息すると推定されています。さらにブラジルは他をはるかにしのぐ、世界最大の地表淡水保有国であり、これにより水力発電をまかっています。1980年代に民主主義が復活して以後、政府は国の広大な天然資源を保護する措置を取ってきました。特に象徴的だったのが、2000年の国家自然保護区の導入です。これらのいわゆる「保護地区」はブラジル国土の約15%に及びます。

法規制面での努力にもかかわらず、2000年以降アマゾンの8%（スペイン国土よりも大きな地域）が破壊されてきました。大豆の生産、牛の放牧、違法伐採が森林破壊の最大の原因です。森林破壊は残念ながら近年、ボルソナロ前大統領の下で増大しました。同氏の4年にわたる在職期間（2019～22年）中に、ブラジルは45,000km<sup>2</sup>の熱帯雨林を失いましたが、これはそれ以前の4年間と比べて60%の増加と驚異的な数値になっています（図表1）。この傾向が続く場合、アマゾンはやがて森林が干上がりサバンナと化する、極めて重要な「立ち枯れ」状況に達しかねません。この場合、生物多様性および気候変動への影響は広範囲に及ぶでしょう。

しかし、ルラ・ダ・シルバ（ルラとして知られる）氏のブラジル大統領再選（通算で3期目）が、同国の著しい森林破壊と生物多様性の喪失を再び逆転させる力になりえるという望みがあります。

図表1：衛星画像経由で測定されたブラジルの森林破壊  
(単位：平方キロメートル)



出所：Instituto Nacional de Pesquisas Espaciais (INPE)

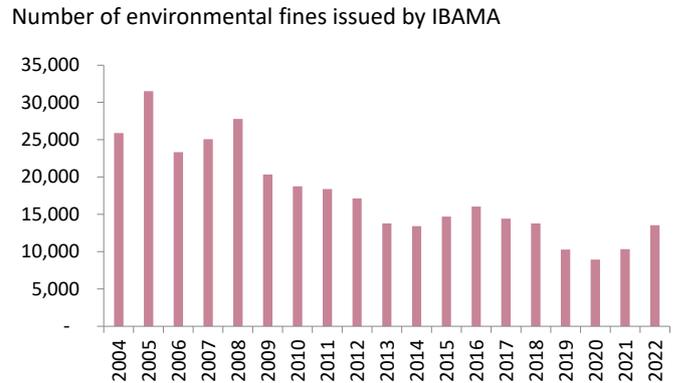
左翼リーダーのルラ氏は、アマゾンを保全し前大統領の政策の一部を撤回することを公約していたため、同氏の勝利は世界中の気候活動家により安堵をもって迎えられました。ルラ氏の以前2期の大統領在職期間（2003～10年）中には森林破壊が急激に減り、保護地区の数が増加しました。しかし様々に異なる政治的・経済的背景の中で、ルラ大統領がその公約を果たせるかどうかは現時点ではわかりません。以前とは異なり、同国の分裂した国会で左翼政党は過半数をもちません。さらに経済が減速を続ける状況は、土地の開墾に対する誘因となります。

### ボルソナロ前大統領の破壊力

ボルソナロ氏は2018年に大統領に立候補した当初から、環境政策を経済開発への障害とみなしていることを表明し、環境省を排除すると公約しました。国民の反発により公約の実行には至りませんでした。その権力を弱めるための措置を導入しました。ボルソナロ氏はたとえば、森林破壊や山火事の増加にもかかわらず、環境省の予算を大幅にカットすることで環境法を強化する能力を奪い、アマゾンの保全を軍部に外注しました。この結果、環境法違反に科される罰金の数が著しく減少しました（図表2）。

環境保護団体の現地連合である *Observatório do Clima* によれば、ボルソナロ氏は国会を迂回するために大統領令を用いて、環境規制の一括撤廃も推し進めました。連邦政府は2020年、環境に関して600件近くの規制変更を承認しています。これらには疑わしい木材輸出、海外の気候上問題がある地域における石油探査の許可の試み、環境保護庁の軍将校との癒着、保護地域での零細採掘や小規模採鉱の合法化といった活動統制の緩和を含みました。当然のように2021年、ブラジルの温室効果ガス排出量は2005年以来最高値に達しました。

図表2：環境法違反に対する消極的な対応（IBAMA が科した環境罰金数）



出所：Instituto Brasileiro do Meio Ambiente e dos Recursos Naturais Renováveis (IBAMA)

ボルソナロ氏は国際的なレベルでも、環境外交におけるブラジルのリーダーシップを弱体化させました。氏は就任するや否やアマゾン基金の運営委員会を排除し、その活動を事実上凍結してしまいました。国際機関や諸国政府からアマゾンの保全資金としての寄付金を得る目的で、10億ドル基金が2008年に創設されていました。同様に、外務省が国際連合との連携で活動していた気候変動部門を排除した一方、政府は画期的なパリ気候協定からブラジルを離脱させると脅かしました。

### 新たなスタート - よりグリーンな未来？

ルラ大統領は就任演説で「ブラジルは気候危機との闘いにおけるリーダーの役割を再開する心構えができています」と断言しました。左翼のリーダーは就任後わずか2～3日でアマゾン基金の凍結解除、ボルソナロ氏の小規模採掘令の撤回、国家環境会議に対する新たな指針の作成など、全面的な変更を実施しました。

ルラ氏は3期目の公約として、2030年までにアマゾンの森林破壊ネットゼロの達成を掲げています。同様に、電力供給網における温室効果ガスの排出ゼロの達成も約束しました。ブラジルは歴史的に、水力発電に大きく頼ってきましたが、エネルギー生成におけるその比率は時の経過と共に減少してきました。同氏はたとえば、国有石油会社ペトロブラスに対して、低炭素エネルギー開発により積極的なアプローチを取るよう求めています。ルラ氏はまた、ブラジルが諸国の組織と協力し、環境保全に向けた資金調達への取り組みを再開すると発表しました。しかしながら現時点では、政府はまだ鉱業に関する具体的な計画を打ち立てていません。

ルラ大統領はさらに、環境相にマリナ・シルバ氏を再指名し、これによりルラ氏の環境計画に対する信用度が上昇しました。シルバ氏は以前の大臣としての任期中、数



ただしブラジルの経済・政治的現実が、これらの目標を達成する上での主な脅威となっています。ルラ大統領はブラジル社会が政治的に深く二極化した時代に、右寄りの議会と協調しなければなりません。シルバ氏が国民の間で信頼を得ていることは政府にとっての助け舟ですが、ルラ大統領は自らのアジェンダを強行する目的で同氏に頼り過ぎるべきではありません。同様に、ルラ大統領は環境政策と経済成長とのバランスを取るという複雑な課題に直面するでしょう。ブラジルは環境にやさしい政策の導入を約束してきましたが、同国の経済は環境の劣化に貢献する産業に重くのしかかっています。ブラジル経済が減速していることは、双方の目標を満たすソリューション模索の難しさを助長するばかりです。

## より投資可能な未来？

より長期的な観点では、ブラジル経済のコモディティおよび資源部門における持続可能性の向上が、同国がこれらの産業に頼っている度合いゆえに、国際的投資の水準を引き上げる可能性もあります。

ブラジルの環境サステナビリティおよびクリーンエネルギーに対する潜在性は総合的に、活気のある民主主義および報道の自由と組み合わせると、環境、社会、ガバナンス（ESG）にやさしい機会を求める投資家にとって、魅力的な投資先となる可能性もあります。しかしながらルラ政権の動向については、ブラジルのESG政策に関して不透明になりえる規制の枠組みに、投資家は細心の注意を払う必要があるでしょう。

## ご留意事項

本資料は情報提供のみを目的としており、アクサ・インベストメント・マネージャーズまたはその関連会社による投資、商品またはサービスを購入または売却するオファーを構成するものではなく、またこれらは勧誘、投資、法的または税務アドバイスとして考慮すべきではありません。本文書で説明された戦略は、管轄区域または特定のタイプの投資家によってはご利用できない可能性があります。本書で提示された意見、推計および予測は主観的であり、予告なしに変更される可能性があります。予測が現実になるという保証はありません。本資料に記載されている情報に依存するか否かについては、読者の独自の判断に委ねられています。本資料には投資判断に必要な十分な情報は含まれていません。

## 投資リスクおよび費用について

当社が提供する戦略は、主に有価証券への投資を行いますが、当該有価証券の価格の下落により、投資元本を割り込む恐れがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動によっては投資元本を割り込む恐れがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではなく、運用の結果生じた利益及び損失はすべてお客様に帰属します。

また、当社の投資運用業務に係る報酬額およびその他費用は、お客様の運用資産の額や運用戦略（方針）等によって異なりますので、その合計額を表示することはできません。また、運用資産において行う有価証券等の取引に伴う売買手数料等はおお客様の負担となります。

## アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

金融商品取引業者 登録番号: 関東財務局長（金商）第16号

加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、日本証券業協会

Ref-30283